

通信業における飛来・落下災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
5	22～23	当局3階南側供給口付近で、供給作業中、鉄製V型（グレー）パレットの手前中棚を右手で跳ね上げて、左手を添えて格納しようとした際、支えていた右手が滑り、中棚が落下して、パレット側面の格納ストッパー（横棒）と中棚レールに、レール内側の位置にあった左手中指が挟まれた。	48～9999	1000
5	17～18	業務中、就業場所内1階事務室にて区分作業中、パレットを使用するため、畳であるパレットを開いたところ、下板のストッパーが掛かっていなかったため、下板が落ちてきて、左大腿部に倒れてきた。	42～499	300
6	13～14	事務室内にて小包を仕分け中、約30kgの米袋を両手に持ち、パレットの中にあるケースに入れようとした。米袋を持った右手が滑り米袋を落とした際、ケースと米袋の間に右手を挟み、右手甲部分を負傷した。	51～299	100
6	6～7	到着したチルドコンテナを開けた際に、積荷のビール樽がドアから脱出してきて床面に着地した。その際、左足親指の上にビール樽が乗り、骨折したものである。尚、チルドコンテナの荷積み状況については、外部から見ることは出来ない。	51～499	300
9	13～14	小包到着処理場において、小包をロールパレットから取り出す際、パレットの中板を上げて、ロックで固定したつもりでいたが、しっかり掛かっていなかったため、下段の小包をとろうとした時に中板が落ちてきて、頭部左側にぶつけた。	41～499	300
10	13～14	小包を仕分けする作業室において、小包の積まれたパレットから荷物をおろしていた。パレットは二段の構造となっており、上段の荷物を降ろした後、中段を上げロックをかけた後に下段の荷物を降ろす作業に入ったところ、ロックをかけた中板が外れ、頭部に直撃し負傷した。	47～299	100

12	11~12	前方道路に車両を停車し、小包を配達しようと、車両後部を開け、荷物を左手で底を持ち、右手で結束バンドを持って降ろそうとしたところ、結束バンドがはずれ、右足親指に荷物が落下し、親指を負傷した。（荷物の中身は車のホイール）	49	300 ～ 499
12	17~18	臨時出張所が終了し、撤去作業中、テントの重りをずらそうと3cmほど持ち上げたところ、手が重みに耐えきれず、右足付根に落とした。	39	500 ～ 999

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html